

福井県地質文献目録

—その2—

(L ~ Z)

東 洋 一 編*

昨年にひき続き、福井県内の地質に関連した文献の集録を行った。本年度は、紙面の都合で講演の要旨は除外した。また、末尾に昨年度集録もれの文献と昭和55年度中に公表されたものを集録した。

M

- 1) 前田四郎(1951)：九頭竜川上流の手取層群を主とする地質案内。白山をめぐる地域の地質(石川県), P.23.
- 2) ———(1952)：福井県九頭竜上流地域の手取統の層序学的研究。地質学雑誌, **58**, 684, 401-410.
- 3) ———(1955)：手取層群の化石相。千葉大・文理・紀要(自然科学). 1, 4, 293-299.
- 4) ———(1957)：福井・岐阜県境地域の手取層群の層序と構造。地質学雑誌, **63**, 739, 225-257.
- 5) ———(1957)：手取層群の堆積区分についての一知見<短報>。地質学雑誌, **63**, 744, 541.
- 6) ———(1957)：福井県石徹白村大山地域の手取層群について。地質学雑誌, **63**, 747, 664-668.
- 7) ———(1957)：福井県九頭竜川上流上平原地域の手取層群の層序と構造。千葉大・文理・紀要, 2, 2, 143-147.
- 8) ———(1957)：福井県打波川および石徹白川流域の手取層群の層序と構造。地質学雑誌, **63**, 741, 357-365.
- 9) ———(1957)：福井・岐阜県境地域の手取層群の層序と構造。地質学雑誌, **63**, 739, 225-237.
- 10) ———(1957)：福井県石徹白村大山地域の手取層群について。地質学雑誌, **63**, 747, 664-668.
- 11) ———(1958)：飛驒山地の手取層群の層序と構造。地質学雑誌, **64**, 755, 388-398.
- 12) ———(1958)：福井県上伊勢産石炭紀紡錘虫(短報)。地質学雑誌, **64**, 756, 477.
- 13) ———(1958)：白山地域の手取層群の層序と構造(その1)。地質学雑誌, **64**, 758, 583-594.

* 福井県立博物館建設準備室

- 14) ———(1958) : 福井県鎌原谷および伊勢谷中部にゴトランド紀石灰岩の発見とその地質構造のもつ意義. 地質学雑誌, **64**, 759, 638 - 643.
- 15) ———(1959) : 福井県大野市宝慶寺に結晶片岩類の発見(短報). 地質学雑誌, **65**, 764, 290.
- 16) ———(1961) : 手取層群の地史学的研究. 千葉大・文理・紀要, **3**, 3, 369 - 426.
- 17) ———(1961) : 福井県九頭竜川南域の手取層群の層序. 地質学雑誌, **67**, 784, 23 - 31.
- 18) ———(1961) : 白山地域の手取層群の層序と構造(その2). 地質学雑誌, **67**, 786, 133 - 142.
- 19) ———(1961) : 福井県九頭竜川南域における手取層群の構造発達史の一解釈. 地質学雑誌, **67**, 787, 189 - 198.
- 20) ———(1961) : 福井県足羽川流域の手取層群. 地質学雑誌, **70**, 2(721), 15 - 19.
- 21) 横山次郎(1951) : 日本地方地質誌「中部地方」. 朝倉書店.
- 22) ———・森下 昌・糸魚川淳二(1975) : 日本地方地質誌「中部地方」改訂版. 朝倉書店, 451 P.
- 23) 前田裕一(1974) : 福井県手取層群九頭竜亜層群貝皿層におけるノジュールについて. 地学研究, 125, 1~6, 170 - 179.
- 24) MATSUO, H. (1954) : Discovery of *Nelumbo* from the Asuwa Flora(Upper Cretaceous) in Fukui Prefecture, in the Inner Side of Central Japan. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan N.S.* 14.
- 25) ———(1956) : On the Neogene Fossil *Palaeoipomoea fukuiensis gen. et sp nov.* from Fukui Prefecture, Central Japan. *Sci. Rep. Kanazawa Univ.*, 4, 2, 281 - 286.
- 26) ———(1962) : A Study on the Asuwa Flora (Late Cretaceous age) in the Hokuriku District, Central Japan. *Sci. Rep. Kanazawa Univ.* 8, 1, 177 - 250.
- 27) ———(1965) : A Study on the Neogene Plants of the Inner Side of Central Honshu (Hokuriku Region), Japan I:On the Genus *Comptoniphyllum* NATHORST. *Ann. Rep. Coll. Liberal Arts. Kanazawa Univ.* 2, 41 - 61.
- 28) 松尾秀邦(1972) : 北陸三県に分布している“台島型植物群”について. 金沢大・教養部論集, **9**, 81 - 98.
- 29) MATSUO, H. (1974) : Vertical Distribution of Some Chemical Substances in Surface Sediments of a Meromitic Lake Suigetsu. *Jour. Oceanogr. Soc. Jap.*, **30**, 5, 1 - 7.
- 30) 松丸国照・東 洋一・竹山憲市(1979) : 丹生山地の中新統から発見された *Miogypsina*.

Operculina とその意義. 地質学雑誌, **85**, 12, 771–774.

- 31) 松丸国照・水野閥英・東 洋一(1980) : 福井県加越地域から発見された *Hiogypsina*-
Operculina 化石群集に関する考察. 埼玉大・教育・紀要, vol.29, 51–58.
- 32) 三浦 静(1957) : 福井県加越台地の地質—第一報—(特に第三系の層序について). 福
井大・学芸・紀要Ⅱ(自然), 7, 5集, 149–161.
- 33) ———(1959) : 石川県橋立丘陵の海成洪積層について. 福井大学芸紀要Ⅱ(自然),
9, 4集, 99–105.
- 34) ———(1966) : 第三紀層破碎帶地すべりについて. 福井大教育紀要Ⅱ(自然), 16,
61–71.
- 35) ———・藤田節子(1967) : 北陸地方における火山灰堆積物(予報) : 福井大教育紀要
Ⅱ(自然), 17, 93–101.
- 36) ———・若狭団研グループ(1969) : 福井県若狭地方の洪積統. 福井大教育紀要Ⅱ, 19,
57–70.
- 37) ———・塚野善蔵・安川克己(1969) : 福井県における地すべり地の地質学的研究(そ
の2) - 第三紀層地すべりの類型について - . 中部地区における災害の地域的特性に關
する総合研究報告, 77–82.
- 38) ———・東 洋一(1974) : 北陸積成区における下部中新統に関する諸問題. 福井大教
育紀要Ⅱ(自然), 24, 2集, 15–25.
- 39) ———(1974) : 上中町末野の粘土について. 福井県窯業試験報, 10, 40–41.
- 40) ———(1975) : 北陸地方における第三紀層地すべり地の類型と過程について. 自然災
害特別研究研究成果, №A-50-6, 59–68.
- 41) ———・東 洋一(1978) : 朝倉氏遺跡の地形・地質, 岩石について. 特別史跡一乗谷
朝倉氏遺跡環境整備事業報告Ⅰ, 1–4.
- 42) ———(1979) : 北陸地方新第三系下部の火山層序について. 地質学論集, 16, 149–155.
- 43) 宮部直巳・大西千秋・佐野渉一・杉浦邦朗(1949) : 福井地震の際の亀裂分布に關する調
査報告. 昭和23年福井地震調査研究速報, 47–50.
- 44) 水野閥英(1980) : 福井・石川県境地域(加越台地)から産出する2,3の示準化石に關す
る検討. 福井県立高志高校研究集録, 11, 81–88.
- 45) 森本良平・松田時彦(1961) : 北美濃地震被害地の地質—第一報—. 地震研彙報, 39,
935–942.
- 46) 村井 勇・金子史郎(1975) : 琵琶湖周辺の活断層系. 地震研彙報, 50, 93–108.

N

- 1) 中川雅郎(1966) : 耳川下流域の地質構造及び地下水. 日本地下水学会誌, 10, 17–22.
- 2) 中村仁一(1973) : 中竜鉱山の品位分布と鉱質分布について. 鉱山地質, 23, 2, 111–118.
- 3) 中村久由・前田憲二郎・鈴木 孝(1962) : 福井県芦原温泉の熱構造ならびに泉源保存に

関する考察. 地質調査所月報, 13, 9, 772-794.

- 4) 中西信弘・山崎正男・柏野義夫(1963)：北陸地方新生代火山噴出物中の火砕流堆積物. 火山, 第2集, 8, 3, 151-155.
- 5) 中山仁一(1972)：中竜鉱山の地質構造と鉱化作用について—特に中山坑における褶曲構造と構造規制—. 鉱山地質, 22, 139-149.
- 6) 中沢圭二・志岐常正・清水大吉郎・野上裕生(1956)：舞鶴地帯の *Lepidolina Znoe*. 地質学雑誌, 62, 730, 361.
- 7) ———(1957)：上部二疊系難波江層群の化石帶と佐川期細分の検討. 地球科学, 31, 16-27.
- 8) ———・志岐常正・清水大吉郎・野上裕正(1958)：舞鶴地帯中下部三疊系総括—舞鶴地帯の層序と構造(その8). 地質学雑誌, 64, 750, 125-137.
- 9) 中沢圭二(1961)：夜久野地域のいわゆる夜久野貫入岩類. 横山次郎教授記念論文集, 149-161.
- 10) 那須信治(1949)：福井地震に伴った断層に就て. 昭和23年福井地震調査研究速報, 69-71.
- 11) 西田一彦(1962)：福井県南条山地の地質. 地学研究, 13, 2, 40-46.
- 12) 野間泰二・後藤貞次・笛嶋貞雄(1963)：九頭竜川水系の地下水. 地質学雑誌, 69, 814, 346.
- 13) 野沢 保・磯見 博(1956)：船津付近でみられるひだ変成岩と船津花崗閃綠岩と古生層との関係(ひだ構造帯の覚え書). 地質学雑誌, 62, 725, 104-113.
- 14) ———(1959)：ひだ変成岩の時代について. 地質学雑誌, 65, 767.

O

- 1) 小笠原義勝(1949)：福井地震の被害と地変. 地理調査所時報, 特報, 1-13.
- 2) 尾原信彦(1973)：透明度および粒度分布からみた小浜湾の堆積相. 地質調査所月報, 24, 618-626.
- 3) 岡田篤正(1978)：若狭湾地域における最終氷期以後の海水準変動と地形発達. 地理評, 51, 131-146.
- 4) 岡山俊雄(1931)：美濃越前山地内部の断層地形(一), (二). 地理評, 7, 920-942, 1035-1062.
- 5) ———(1956)：柳ヶ瀬断層と敦賀湾伊勢湾線. 駿台史学, 7, 75-101.
- 6) 表俊一郎他(1961)：北美濃地震余震観測—勝原および蛭ヶ野における観測—. 地震研究所彙報, 39, 881-894.
- 7) 大村明雄(1968)：福井県大野郡西谷村付近に分布する本戸累層の堆積学的研究. 地質学雑誌, 74, 4, 217-231.
- 8) 大野照文・岡崎美彦・平尾喜代二(1977)：福井県和泉村からのシルル紀三葉虫の発見.

- 地学研究, 28, 4 ~ 6, 185 - 190.
- 9) 大橋不三男・縣 孝之・服部 勇(1979) : 福井県南条山地, 中津原に産する超苦鉄質岩. 岩石鉱床学会誌, 74, 227 - 234.
- 10) 太田良平・松井和典(1952) : 福井県笛生川ダム地点地質調査報告. 地質調査所月報, 3, 8, 9 - 13.
- 11) 太田陽子(1973) : 海成段丘面上の活断層 — 丹生山地西縁および佐渡ヶ島の例 — . お茶の水地理, 14, 10 - 15.
- 12) 小谷良隆・斎藤友三郎(1962) : 福井県文室鉱山矢ノ谷地区の物理探鉱. 地質調査所月報, 13, 3, 264 - 270.
- 13) 大築洋之助・清野信雄(1919) : 20万分の1「敦賀」図幅並同説明書. 地質調査所.
- 14) 尾崎金右衛門・他(1953) : 九頭竜川上流に分布する古生層について. 飛騨研連格紙.
- 15) ———・亀井節夫(1955) : 九頭竜川上流地域の地質の問題点. 飛騨研現地討論会資料.
- 16) ———(1956) : 飛騨ゴトランド海における生存競争. 地学研究, 9, 3, 75 - 81.
- 17) ———(1957) : 大洞谷産 *Obrophyllum oboroensis* OZAKI の研究. 地学研究, 10, 1, 11 - 16.

S

- 1) 坂口重雄・長谷川功・森本啓一(1973) : 福井県小浜市付近の地質. 大阪教育大紀要(自然), 22, 55 - 67.
- 2) 坂本浩太郎(1966) : 福井平野の地下水. 福井県立丸岡高等学校研究紀要.
- 3) ———(1973) : 福井平野の地下水—とくに被圧面地下水に関する研究—. 福井県教育研紀要, 63, 111 - 120.
- 4) ———(1974) : 地下水の塩水化に関する研究—模型実験を通して—. 福井県教育研紀要, 65, 145 - 152.
- 5) ———(1975) : 小浜平野の地下水—とくに自噴性帶水層の透水性について—. 福井県教育研紀要, 67, 99 - 106.
- 6) ———(1976) : 地下水のしらべ方—とくに水位観測を中心として—. 福井県教育研紀要, 69, 103 - 110.
- 7) ———(1977) : 丸岡町竹田地域の地下水. 福井県教育研紀要, 71, 123 - 128.
- 8) ———(1977) : 福井県の地学(紹介). 地学教育, 30, 1, 53 - 56.
- 9) ———(1980) : 三国町東尋坊・雄島周辺における野外観察. 福井県立丸岡高校紀要, 6, 1 - 10.
- 10) 坂本峻雄・益子 安・佐藤幸二(1956) : 温泉の地球化学的研究—第三報—芦原温泉, 温泉科学, 7, 3.
- 11) 産業地質グループ(1974) : 小浜湾の海況と堆積に関する研究(中間報告). 地質調査所月報, 24, 12, 647 P.

- 12) 笹嶋貞雄(1960)：自噴性帶水層の湧出能について—特に福井県敦賀平野における場合—、
地学雑誌、**69**, 1, 32-36.
- 13) ———(1954)：福井県雄島附近に分布する火山岩類の自然残留磁気について(第一報)，
福井大学芸紀要Ⅱ(自然)、**3**, 79-84.
- 14) ———・伊藤政昭(1959)：敦賀平野とその地下水について、福井大学芸紀要Ⅱ(自然)、
9, 107-122.
- 15) ———・伊藤政昭(1959)：自噴性帶水層の湧出能について—特に敦賀平野における場
合、福井大学芸紀要Ⅱ(自然)、**9**, 107-122.
- 16) ———(1960)：飛驒帶を中心とする變成岩・花崗岩類の岩石磁気学的研究、福井大学
芸紀要Ⅱ(自然)、**10**, 147-162.
- 17) ———(1962)：福井県小浜平野の地形・地質と地下水についてⅠ. 小浜平野およびそ
の周辺の地形と地質、福井大学芸紀要(自然)Ⅱ(自然)、**12**, 89-102.
- 18) ———・坂本浩太郎(1962)：小浜平野の地形・地質と地下水についてⅡ小浜平野の地
下水、福井大学芸紀要Ⅱ(自然)、**12**,
- 19) 里見信生(1966)：北陸の自然、六月社.
- 20) ———(1978)：北陸の自然誌、海編・野編・山編、巧玄社.
- 21) 関 達也・早瀬一一・宮内東洋(1979)：福井県中竜鉱山付近に貫入する石英斑岩のRb-
Sr全岩年令、岩石鉱物鉱床学会誌、**74**, 2, 79-84.
- 22) 柴崎達雄(1956)：敦賀一大津ひずみ帯—ひずみ帯における応用地質学的諸現象—、地球
科学、**29**, 1-8.
- 23) 志岐常正(1959)：舞鶴地帯に分布する二疊系および三疊系の砂岩の2・3の性質一とく
にmaturityの問題について、地球科学、**42**, 5-17.
- 24) 蘭部竜一(1938)：7万5千分の1地質図幅「大聖寺」並同説明書、地質調査所.
- 25) ———(1939)：7万5千分の1地質図幅「福井」、地質調査所.
- 26) 杉村 新(1963)：柳ヶ瀬断層、第四紀研究、**2**, 6, 220-231.
- 27) 鈴木好一(1943)：福井県足羽川中上流地方の地質、資源研彙報、**3**, 75-84.

T

- 1) 高橋彦治・白井慶治(1959)：北陸トンネルの地質とその工学的解釈、鉄道技術研究所報
告、**74**.
- 2) 田久保実太郎・鵜飼保郎(1952)：福井県中竜鉱山の接触鉱床について(予報)、鉱山地
質、**2**, 4, 75-80.
- 3) 田中芳明(1974)：上穴馬層群(デボン紀)での三葉虫の発見、化石の友、**12**, 2.
- 4) ———・小野輝雄・村田正文(1977)：飛驒山地下部デボン系彦コヌラリア化石につ
いて、地学研究、**28**, 7~9, 285-288.
- 5) 東郷正美(1974)：琵琶湖北岸、野坂山地の変動地形、地理評、**47**, 11, 669-683.

- 6) 徳永正之(1959)：中竜鉱山・中竜鉱床におけるスカルンの累帯配列と閃亜鉛鉱の産状・性質。鉱山地質, 9, 36, 211-223.
- 7) 友田淑郎・小寺春人・中島経夫・安野敏勝(1977)：日本の新生代淡水魚類相。地質学論集, 14, 221-243.
- 8) 塚野善蔵(1954)：福井県丹生山地の新第三系について(第一報)。福井大学芸紀要Ⅱ(自然), 4, 第1集, 1-10.
- 9) TSUKANO, Z., MIURA, S. (1959) : On the Upper Cretaceous Formation and related Some Problems in the Western Part of the Hida Plateau, Japan. *Mem. Fac. Lib. Arts, Fukui Univ.* 2, 9-6, 123-137.
- 10) 塚野善蔵・三浦 静(1959)：石川・福井県下における白亜系と第三系との境界に関する諸問題。有孔虫, 10, 47-54.
- 11) ———(1960)：芦原温泉の水理地質学的研究。福井大学芸紀要Ⅱ(自然), 10, 第5集, 119-146.
- 12) ———(1965)：温泉開発の一例—福井市天菅生温泉について—。福井大学芸紀要Ⅱ(自然), 16, 第6集, 117-147.
- 13) ———・伊藤政昭(1965)：敦賀東部山地の古生層について。福井大学芸紀要Ⅱ(自然), 14, 6集, 101-106.
- 14) ———・三浦 静・安川克己・宮永剛太郎(1965)：福井市足羽山北西部の洞窟(採石跡)に関する重力異常について。福井大学芸紀要Ⅱ(自然), 15, 73-85.
- 15) ———(1966)：越前海岸の地形と地質。越前海岸自然公園学術調査報告, 日本自然保護協会, 19-58.
- 16) ———・三浦 静・郡寄隆次(1966)：福井県三里浜砂丘地域の水理地質について。福井大学芸紀要Ⅱ(自然), 16.
- 17) ———・伊藤政昭(1967)：福井・滋賀県境の古生層について(予報)。福井大教育紀要Ⅱ(自然), 17, 第5集, 81-91.
- 18) ———(1968)：福井県の温泉について—とくに芦原温泉について—。温泉科学, 19, 3~4, 79-104.
- 19) ———(1979)：北陸地方の水資源問題について—水需要の現状と将来的予測—。日本海学会誌, 3, 77-102.
- 20) TSUYA, H(ed) (1950) : The Fukui earthquake of June 28, 1948. *Rept. Spec. Comm. Fukui Earthq.*, 1-197.

U

- 1) 上治寅次郎(1928)：若狭湾岸一部の隆起現象に就て。地球, 9, 1, 42-45.
- 2) 鵜飼保郎(1959)：福井県内外海鉱山調査報告。地質調査所月報, 10, 9, 817.
- 3) 宇野沢昭(1978)：福井県小浜平野の第四紀層の¹⁴C年代と花粉分析結果について。地質

W

- 1) WAKABAYASHI, K. SATO, H. (1966) : Structural control and prospecting of the northern Ore deposits of the Nakatatus Mine. *Min. Geol.*, 16, 161-171.
- 2) YAMADA, K. (1967) : Stratigraphic and Geologic Structure of the Palaeozoic Formation in the Upper Kuzuryu River District, Fukui Prefecture, Central Japan. *Sci. Rep. Kanazawa Univ.* 12, 1.

Y

- 1) 山口理喜三・太田昌秀(1965) : ひだ外縁帯伊勢地方の大谷礫岩から含 *Lepidolina* 石灰岩礫を発見. 地質学雑誌, 71, 837, 276-280.
- 2) 山科健一郎(1976) : 1948年福井地震に先だつ周辺の主要な地震によって生じた福井地方の歪みの蓄積について. 地震第2輯, 28, 4, 415-427.
- 3) 山崎直方・多田文男(1927) : 琵琶湖附近の地形と基の地体構造につきて. 地震研彙報, 2, 85-108.
- 4) 矢崎清貫(1947) : 福井県大山・昭和炭鉱調査報告. 地質調査所.
- 5) 安野敏勝(1971) : 中新世魚類化石の産出とその意義. 福井県高等学校理科部会誌, 49-57.
- 6) ———(1972) : 福井県中新世魚類化石の産出とその地史的意義. 福井県立敦賀高校研究集録, 8, 21-30.
- 7) ———(1976) : 福井県丹生山地産の中新世コイ科魚類化石. 瑞浪市化石博物館研究報告, 3, 151-155.
- 8) ———(1977) : 中新世産新属新種コイ科魚類化石について(Ⅱ). 福井県高教研会誌研究紀要, 12, 60-68.
- 9) ———(1978) : 福井県糸生湖成層産の昆虫化石. 福井市郷土自然科学博物館同好会誌, 25, 7-11.
- 10) ———(1979) : 福井県糸生湖成層産の昆虫化石(その2). 福井市郷土自然科学博物館同好会誌, 26, 59-67.
- 11) ———(1979) : 福井県の下部中新統(糸生累層)中に発見された海成層について. 瑞浪市化石博物館研究報告, 6, 155-157.
- 12) ———(1980) : 福井県北部・細坪泥岩層産の魚鱗化石(予報). 福井市郷土自然科学博物館同好会報, 27, 29-37.
- 13) 吉川宗治(1949) : 福井地震の震害と地盤. 防災研究所報告, 2.
- 14) 吉沢康暢(1976) : 足羽三山の地形と笏谷石について. 福井県教育研究所研究紀要, 69,

111 - 118.

- 15) ——— (1977) : 福井県竹田川中流域の地形と地質. 福井県教育研究所研究紀要, 71, 111 - 121.
- 16) ——— (1978) : 勝山市野向町牛ヶ谷層と産出化石について. 福井市郷土自然科学博物館同好会報, 25, 1 - 6.

補 遺

A - 12) 東 洋一 (1980) : 福井地質文献目録ーその 1 -. 福井市郷土自然科学博物館同好会報, 27, 23 - 28.

H - 14~15) 北陸農政局 (1977) : 福井県の水理地質と地下水, 48 P.

I - 1 ~ 2) 市瀬由自 (1976) : 福井平野における袋状凹地の成因に関する考察. 東北地理, 28, 3, 146 - 152.

I - 2 ~ 3) 井口昌平・吉野文雄 (1972) : 真名川のみ疊堆の形成に関する実験的研究. 生産研究, 24, 4, 47 - 50.

I - 22) 伊藤政昭・白竹武夫 (1980) : 福井・岐阜県境冠山周辺の“古生層”の放散虫化石による再検討. 福井市立郷土自然科学博物館同好会報, 27, 1 - 6.

I - 23) ———・松田哲夫 (1980) : 美濃帶北西部南条山地から, トリアス紀-ジュラ紀型放散虫化石・トリアス紀型コノドント化石の発見. 福井市郷土自然科学博物館同好会報, 27, 7 - 12.

K - 9 ~ 10) 細野義夫 (1952) : 北陸地質文献目録 (I). 自然と社会, 9, 1 - 6.

K - 9 ~ 10) ——— (1953) : 北陸地質文献目録 (II). 自然と社会, 10, 7 - 12.

K - 12 ~ 13) ——— (1979) : 北陸の地質をめぐって. 日曜の地学 6, 築地書店, 215 P.

K - 24 ~ 25) KAWASAKI, I. (1975) : The focal process of the Kita-Mino earthquake of August 19, 1961 and its relationship to Quaternary fault, the Hatogayu-Koike fault. *Jour. Phys. Earth.*, 24, 227 - 250.

K - 24 ~ 25) 経済企画庁 (1971) : 土地分類基本調査地形・表層地質・土じょう「福井」5万分の1

K - 43) 桑原正見 (1962) : 武生・鯖江盆地の地形. 資源研彙報, 56 · 57, 41 - 50.

おわりに

2ヶ年にわたって地質の文献を集録してきた。集録できた文献は県下の地質の特徴を反影してずいぶんと多様性に富んでいると思った。本文献集では、単に著者名の順に文献を集録してきたが、いずれ機会を得て、年代別、地域別、専門内容別等に集録しなおし、さらにつかいやすい文献集を集録してみたいと考えている。もとより本文献集は私が知り得た文献のみであるので、完全に集録できたとは思っていない。使われる方々でより一層完全なものに訂正・追補していただ

ければと思う。また、少しなりとも地域文化の発展に参考となれば幸いと思う。